



進路だより

9月16日(火)
第16号
通津中学校

【2学期を充実させるためには・・・計画をしっかり立てよう！】

9月も早いもので2週間が過ぎました。この間に「習熟度テスト」と「中間テスト」があり、入試に向けての勉強をしつつ、定期テストの勉強もしなければならないということで、大変だったと思います。おそらく今は、テストが終わって一息ついていることだと思いますが、2学期は、「体育祭」「文化祭」という大きな行事がある中で、「入試に向けての勉強」と「定期テストの勉強」、「進路決定に向けての手続き」など、いろんなことを同時にこなす必要がでてきます。

そんな忙しい中で焦らず集中して勉強していくためには、計画が大事です。いつどの時期までに何をすべきなのか先を見通して、計画を立てて勉強を進めましょう。

第二回進路希望調査を配布しました

本日配布された「第二回進路希望調査」は、現段階の志望校(特に私立高校)を確認し、今後の進路の方向性を考える資料にするためのものです。配布したパンフレットや夏休みに行ったオープンスクールなどから、進学したい学校がはっきりしてきた人も多いと思います。また、具体的な学校名がでてこなくとも、「こんな高校に行きたい」、「高校でこういうことを学びたい」など、自分の進路について考えることができているならば、先生と一緒に高校を探すこともできます。再度、しっかりと自分の未来と向き合い、保護者の方とよく話し合ったうえで提出するようにしてください。

また、第一志望校が決定している人は、「専願」と「併願」の受験方式について考えておいてください。特に、私立専願を希望する者は、早い人で11月下旬から出願の手続きが始まります。12月の三者懇談で相談して決めればよいと思っていると、場合によっては、出願期間内に提出するのが難しい学校もあります。「専願」を希望する場合は、早目に担任と相談してください。

【専願と併願のメリットとデメリット】

	専願	併願
メリット	・合否判定で優遇される学校が多く、併願よりも合格しやすい。 ・早い段階で合格が確定する。	・日程さえ重ならないければ他校を受験することができる。 ・合格した場合も、入学するか入学を辞退するか選択できる。
デメリット	・合格した場合は、入学辞退ができず、他の学校へ出願(合格)していても受験(入学)できない。	・受験費用の負担が増える。 ・併願校によっては、最終的に入学しない学校への手続きや入学金の支払いが必要になる場合がある。

★令和 8 年度の高校入試で合格内定が出た場合に入学を確約すること(専願)が条件になっているものは、次の 4 つです。

高校入試	具体的な高校名(例)
私立の専願入試	・高水、柳井学園、聖光、山陽女学園、広工大、ひろしま協創 等
私立・国立の推薦入試	・上記の私立高校等 ・徳山高専、大島商船、広大附属 等
県立大学附属の 特色選抜・一般専願入試	・山口県立大学附属周防大島高校
公立高校の特色選抜	・岩国、岩国工業、岩国商業、岩国総合、柳井、徳山 等

専願受験に関して、よく質問されることのQ&A

Q1:専願入試はかならず合格できる？

A:必ずではありませんが、合格の可能性は高いといわれます。

専願入試は、合格が保障されているわけではありません。当日の試験の結果や調査書等、総合的な判断の結果、不合格となることも十分あり得ます。

ただし、専願は合格ラインが低めに設定してあったり、一般入試の場合では、専願希望者を先に選抜し、定員に満たない場合に併願希望者と専願入試で不合格になった者を一緒にして選抜したりするなどの措置をとっているため、併願受験よりは合格しやすいといえます。

Q2:専願入試で合格できなかったら、どうすればよい？

A:他校を受験する。同じ学校の一般入試を受験する。

Q3:専願は合否が分かるまで、他の入試に出願してはいけない？

A:併願や一般入試に出願しても OK です。

専願の合否が判明する前に、併願校の出願が締め切りとなってしまう場合もあります。専願の合否決定後では、出願が間に合わない場合は、併願校に出願しても構いません。

もし専願で合格できたら、併願校は受験を辞退することになります。ただし、その場合の受験料の返金はありません。

また、専願の合格がわかった時点で、併願校に合格していたとしても入学を辞退することになります。